

なら

2018.11 vol.10

産業

Industry Journal
of Nara

ジャーナル

川端運輸

運送に誇り
「安全」「共育」の徹底で
豊かな運び手へ

川端運輸株式会社

代表取締役社長

川端章代氏

公益財団法人 奈良県地域産業振興センター

INDEX

2

寄稿

地域未来投資促進による地域経済の活性化に向けて

近畿経済産業局長 森清氏

4

巻頭特集

運送に誇り

「安全」「共育」の徹底で豊かな運び手へ

川端運輸株式会社 代表取締役社長 川端章代氏

8

この企業に、技あり!

デザインを軸に、新素材の開発にも注力 世界ブランドを目指す「ライクイット」

株式会社吉川国工業所 代表取締役社長 吉川利幸氏

10

会社訪問記(ブランドづくり)

かき氷店のはしごによる周遊型観光 氷の神さまを中心にした

「かき氷のまち」を提案

合同会社ほうせき箱 代表 ヒライソウスケ氏

12

INFORMATION

なら農商工連携ファンド事業を活用して 新商品の開発をしませんか?

奈良県産品の輸出をサポート ジェトロ奈良がオープン

後継者へスムーズなバトンタッチをするために あなたの事業承継を応援します!!

設備投資の公的サポート 設備貸与制度

訪問余録



「鹿と自然と自分だけの世界」

ほうせき箱の定休日も、自身が関わる地域のイベントの準備などで走り回っているというヒライソウスケさんの唯一の趣味が、早朝の奈良公園で鹿を撮影して回る「鹿活^{しかかつ}」です。「日の出すぐは真横から陽光が当たって陰影がはっきりする上、朝モヤがかかったりして、本当にドラマティックな光景に出会えるんです。早朝の奈良公園では、1000年以上の昔から変わらない、鹿と自然と自分だけの世界を体感できます」。鹿活を始めてから、鹿の子模様が冬毛に変わる時期、オス鹿が角を研いで泥化粧をする時期など、季節で変わる鹿の表情も楽しむようになったそうです。撮影した写真は、SNSで公開しています。



昭和61年3月、東京大学法学部卒業
同年4月、通商産業省(現経済産業省)に入省。大臣官房審議官(貿易経済協力局・海外戦略担当)、総務省情報通信国際戦略局次長、大臣官房政策評価審議官(併)サイバー国際経済政策統括調整官を経て、平成29年7月に近畿経済産業局長就任。

近畿経済産業局長 森清氏

我が国経済は、雇用・所得環境の改善が続く中で、緩やかに回復し、経済の好循環が実現しつつあります。この経済の成長軌道を確認しつつ、持続的な経済成長を成し遂げるため、政府は、昨年12月に「新しい経済政策パッケージ」を閣議決定し、少子高齢化という最大の壁に立ち向かうため、2020年に向けて生産性革命と人づくり革命を車の両輪として取り組んでおります。

さらに本年6月には、「未来投資戦略2018」が閣議決定されました。IoT、ビッグデータ、AI、ロボットなどの第4次産業革命の技術革新を存分に取り込み、「Society 5.0」を本格的に実現するため、これまでの取組の再構築、新たな仕組みの導入を図っていくこととしています。

また、近年、地域経済の事業環境変化に伴い、産業・雇用の担い手が多様化しており、観光・特産物など地域の特性を生かしつつ、成長性の高い新たな分野に挑戦する取組によって稼ぐ力を向上させ、地域経済を好循環させることが不可欠となっております。

こうした中、経済産業省におきましては、昨年7月に施行された「地域未来投資促進法」に基づき、地域の特性を生かして高い付加価値を創出し、地域に大きな経済的効果を及ぼす取組を支援しております。

奈良県は、昨年9月に成長ものづくり分野やIoTの活用等、今後の高

い成長性が期待される新産業への参入を支援するとともに、奈良県が有する豊富な観光資源や特産物を活用した産業に対する投資を後押しする「奈良県未来投資促進基本計画」を策定されました。この基本計画に基づき、地域経済を牽引する事業に取り組む事業者も生まれてきており、新たな付加価値を生み出す産業の創出が期待されます。

近畿経済産業局におきましては、引き続き、地域の特性を生かしながら経済的波及効果をもたらす中核企業を集中的に支援してまいります。

また、我が国が誘致活動を行っている2025年大阪・関西万博の開催は、関西が世界から注目を浴びる絶好の機会であり、関西のイノベーション創造の起爆剤として大きな効果が期待できるものと考えております。

奈良県には、古代から近世にまでさかのぼる長い伝統を誇る産業から、最新技術を有する次世代産業までの幅広い産業集積や、他に類を見ない観光資源、多くの特産品等があります。また、統計によれば奈良県は近年、新規事業部門への進出等、多角化目的の設備投資割合が大きい傾向にあります。地域経済の活性化に向け、地域経済を牽引する事業が数多く創出されますよう、奈良県内の企業の皆さま、支援機関の皆さまのますますのご発展をご期待申し上げます。

地域未来投資促進による 地域経済の活性化に向けて

運送に誇り

「安全」「共育」の徹底で 豊かな運び手へ



川端運輸株式会社
代表取締役社長
川端 章代 氏

創業54年の川端運輸の経営理念には、「豊かな運び手として社会に貢献します」という文言があります。この言葉には、運送という業界に飛び込み、無我夢中で仕事に向き合った女性経営者のドライバーに対する尊敬と信頼、そして願いが込められています。「共に育つ」という理念で自ら学ぶ社風を醸成してきた同社に、ターニングポイントとなった出来事や、安全運送にかける思いを伺いました。

一生懸命に打ち込んだ
ゼロからのスタート

杉山 まず御社の設立の経緯、これまでの沿革などを教えてください。

川端社長 54年前の1964年、トラックが

好きだった父が「川端運送店」として創業し、その後1987年に株式会社を設立しました。私の小さい頃は、家の離れに地方から来てくれている運転手さんが暮らしているという環境でした。父も母も仕事に明け暮れていましたので、子どもながらに「商売って大変だな」と思っていましたし、夢はサラリーマンの奥さんになることだったんです。三人姉妹の三女でしたし、まさか自分が会社を継ぐことになるとは、全く考えていませんでした。

た。私は何もできなかったもので、事務を手伝いでした。入社して3年ほど経ったころ、父に代わり第一線で配車や営業をしていた義兄が病気で倒れました。母は経理、姉は事務でしたから、他に成り手がいないということになりました。できることかできないかに関わらず、その仕事をやる人間は私しかいないのですから、何も知らない何もできないなどと言ってられない状況でした。地図を読むもおぼつかなく、業界のこともわからない状況でしたが、とにかく一生懸命に仕事に打ち込んでいると、協力してくれる人も現れて、能力以上の働きができたのだと思います。

川端社長 いろいろあって、25年前に子ども3人を連れて実家に戻ってくることにになり、父から会社の仕事を手伝うように言われまし

た。当時、大手食品メーカーの物流子会社の下請けが8割を占めていて、この荷主さんは仕事に関して非常に厳しい方でした。運送業の上辺しか知らなかった私を「そんなことではあかん、勉強せえ！」と、何度となく叱り、鍛えてくれました。その方を訪問する時はいつも部屋の扉の前で、「なにくそ！やればできる。」と自分に言い聞かせました。

杉山 ではどういった経緯で会社を継ぐことになったのですか。

川端社長 ゼロからの思いがけないスタートだったのですね。

会社存続の危機から学ぶ
「誇りを持てる会社」へ

川端社長 何とか仕事をしていく中、私が専務だった2000年に、入社3ヶ月の社員が

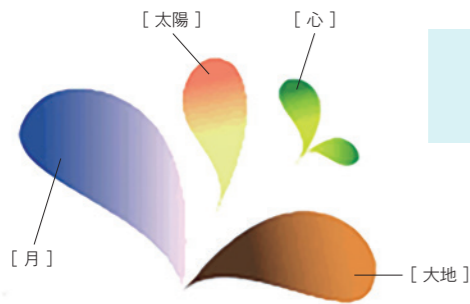
安全教育の必要性は身にしみたものの、社員教育の前に、私自身の勉強が先でした。第一線から退いていた父は、義兄が倒れた後も、手取り足取り教えてくれるような主義ではなかったたので、私は経営について相談できる相手もなく、「こんな家族経営の小さな会社は、いつか潰れてしまうんじゃないか」と悶々と

聞き手



奈良県地域産業振興センター
事業化推進課 課長 **杉山 淳一**

出発前に専務取締役と対面して安全点呼を行います。ドライバー全員が顔を合わせて実践することで社内のコミュニケーションも生まれます



会社のロゴマークは創業者 川端義雄 氏のイニシャル「K.Y」をモチーフに「夜明けから日の出へ 恵まれた大地から芽生える 久しく～遠く」の意味を込めたデザイン

現在ドライバーは充足していますが、次の段階として、辞めない会社にしなくてはいけないと思っています。そのためには、「この会

川端社長 社員の安全教育に力を入れるようになって初めの頃は「俺たちはドライバーなのに何を勉強するの？」と、勉強会なのに鉛筆すら持つてきませんでした。でも、繰り返しているうちに「またするの？」は、「次は何をするの？」に変わっていきました。私が社長になって10年、危険予知トレーニングや安全運転研修、スポーツ整体師を迎えての健康管理など、安全教育を続けてきて、随分社員の意識が変わってきたと思います。ドライバー同士で議論しながらISO39001^{*}も取得しましたし、仕事熱心な先輩社員を見て、若い社員が自然に学んでくれる杜風ができてきました。

杉山 安全教育はどのように進められたのですか。
川端社長 社員の安全教育に力を入れるようになって初めの頃は「俺たちはドライバーなのに何を勉強するの？」と、勉強会なのに鉛筆すら持つてきませんでした。でも、繰り返しているうちに「またするの？」は、「次は何をするの？」に変わっていきました。私が社長になって10年、危険予知トレーニングや安全運転研修、スポーツ整体師を迎えての健康管理など、安全教育を続けてきて、随分社員の意識が変わってきたと思います。ドライバー同士で議論しながらISO39001^{*}も取得しましたし、仕事熱心な先輩社員を見て、若い社員が自然に学んでくれる杜風ができてきました。



一番若手のドライバー。“豊かな運び手”としてお客さまのお預かり物を大切にお届けします

社に入れば子どもを育てられ、安心して暮らしていける」と思ってもらわなければいけません。大事な家族との時間は精神的な安定につながりますし、健康を保つことは健康起因事故防止にもなります。今いてくれるドライバーを大切にしたいので、現在は福利厚生に注力しています。

杉山 これまで経営されてきた中で、一番喜びを感じた場面を教えてください。

川端運輸株式会社



①安全輸送②ISO 39001認証③環境保全④機密情報の保持など、「誇りを持つる運送会社」を念頭に、全社をあげて品質管理に取り組んでいる。

代表取締役社長／川端 章代

本社／大和郡山市今国府町690番地

TEL／0743-59-6636

設立／1964年

資本金／1,500万円

従業員数／29名

URL／http://www.kawabataunyu.com



看板犬ももちゃん

川端社長 2014年に創業50周年を迎えた際、父の頃からの超ベテランドライバー2人が男泣きをしながら花束を手渡してくれたんです。そのうちの一人は普段あまり協力的ではなかったために、これからどう関係を構築していこうかと悩んでいた人でした。そんな人から「これからは会社のために技術を後輩に伝えていきます。ありがとうございます。」と言ってもらったことは、やってきたことが間違いはなかったのだと感じて、本当にうれしかったです。大変なことがいろいろあったけど、全部チャラ！というくらい、感無量でした。目に見えない大事なものは伝わるんです。会社って、人を思いやる「愛」がなければうまくいきませんか。

杉山 これからも安全に、情熱と熱意を持って、お客さまの荷物を届けてください。本日はありがとうございました。

^{*}ISO39001とは、道路交通安全(Road Traffic Safety:RTS)活動の国際マネジメント規格。RTS推進には重要な「緊急事態対応」、「インシデントを含めた交通事故調査」が要求事項として織り込まれています。



息子であり専務取締役の真也さんと。次世代への事業承継後は、もう1つの柱である高齢者向けの引越サービスに本腰を入れたいと川端社長

教育から共育へ 社員とパートナーと して歩んだ道

杉山 お話を聞いてみると、御社の「共育」という考え方は、社長自身が勉強する中で生まれたのだと感じます。
川端社長 そうですね。私は、社員をはじめ周りの人に随分助けられ、また頼りにされることで、やっと仕事ができるようになったので、社員はパートナーであり「教育」ではなく「共育」なのだという考え方が、実感を持って腑に落ちたのだと思います。

経営理念をつくる勉強会では、これまでの自分が何を求めているのかを知るために、人生を深掘りしていきました。そのときに、私はいつも周りのせいにして言い訳していたこと、だけど周りに助けられてここまでこれたことに向き合ったのです。そして私は「この会社に誇りを持ちたい」のだと気付きました。陸上輸送というのは、とても大事な仕事です。トラックが走らなければ経済は止まってしまいますから。
杉山 ドライバーの方は外に出ていることが多いですが、コミュニケーションはどのように工夫されていますか。

川端社長 毎日、「今日一日、一人でも多くの社員の顔を見る」と思っているもので、できるだけ最後の一人が、帰ってくるまで待っています。冬の早朝、凍えるようなハンドルを握って、使命感を持って荷物を運んでくれます。顔を見て、体調を気遣って、他愛もないことですが、私にできることで最大限サポートしたいと思っています。

人としての資質を育てる 『豊かな運び手』とは

杉山 業界では深刻なドライバー不足に陥っていると思いますが、御社ではどのように対応されているのでしょうか。
川端社長 運送業というのは、荷を積んで、運んで、荷を降ろすだけと思っっている方が多いですが、そんな簡単なものではないです。積み降ろしの技術も必要ですし、なによりドライバーは命をかけて運んでいますから。経

デザインを軸に、新素材の開発にも注力 世界ブランドを目指す「ライクイット」

株式会社吉川国工業所
代表取締役社長 吉川 利幸 氏

使いやすく、生活に馴染み、末永く愛されるプラスチック製品を作りたい。この信念の元で、コツコツとモノづくりに励んだ吉川国工業所。オリジナル収納製品ブランド「like-it(ライクイット)」の成長の秘訣や、今後のビジョンについてお話を伺いました。

プラスチック製品に輝きをカゴに注目して好機を得る

吉川国工業所の歴史は、1932年に初代の吉川国太郎氏が吉川セロイド工業所として創業したことに始まります。その後、当時の新素材であったプラスチックで製品の製造を始めました。創業からは86年、プラスチックへの製品に携わってから70数年という実績を持ちます。プラスチック転換当時は製品製造のみでしたが、販売、企画開発と業務の枠を広げていきました。なおざりにされがちだったプラスチック製品が、どうしたらいろいろな生活のシーンで輝くような存在になれるのかと、試行錯誤を繰り返してきました。そのような中、3代目の利幸氏が同社に入ってから初めて手がけた製品が、「メッシュラウンドバスケット」でした。柔らかな質感を持つこのカ

ゴは、単なる生活用品ではなく、インテリアとして生活の表舞台に登場できる製品として好評を博し、1984年に同社初となるグッドデザイン賞を受賞しました。現在でも売れているというこの商品は、その後の同社の製品づくりの原点となりました。

グッドデザイン賞多数 デザインが同社の成長エンジン

「メッシュラウンドバスケット」を契機にして「ライクイット」ブランドが生まれます。そして、独自の販売ルートの開拓や新たな感覚の商品開発を目指して、ライクイット株式会社が設立されました。バスケット、衣装ケースなどの商品開発を行う中で、関心を集めつつあった「収納」というジャンルに着目。効率よく必要なものを入れ、必要なものを取り出すこと



壁一面に掛けられたグッドデザイン賞の賞状を背に
今後のビジョンについて語る吉川社長

に注力してきました。20年程前は、押入れに使う収納用品をとってみても、各社がバラバラのサイズで作っていたため、買い増し、買い替えの時に持っているものとサイズが合わないので使いにくいという状況で、「収納」には新しい提案が求められていました。「だから、私たちは組み合わせを可能にするサイズモジュールから決めていこう、というのが出発点でした」。自分たちが「これいいよね」と思うものを開発してきた結果、それは使う人に寄り添った商品となり、多くの人に愛されていったのです。獲得したグッドデザイン賞は、実に47件にのぼります。そして2018年10月には「米とぎにも使えるザルとボウル」が48回目の受賞を果たしました。米を潰さない

しなやかな素材。ザルには、細い縦長の溝があり、米が挟まるストレスはもろろなく、素早く水切りできるのが特徴。シンプルでデザインなので米とぎ以外にも重宝しそうです。デザインに重きを置いている吉川社長は



「米とぎにも使えるザルとボウル」は料理研究家の松田美智子氏監修。新しいブランドロゴを携え、2018年10月グッドデザイン賞を受賞

こう話します。「中小企業なので、デザインというのは商品をつくるということだけではなく、会社の顔、進むべき方向性まで表現してしまうものなんです。だから、まず、つくっている私たちがすべてに納得がいく商品をつくらなければ」「ライクイット」をさらなる世界ブランドに

現在「ライクイット」の需要は日本だけでなくとどまらず、売り上げの3割は海外での販売です。さらに、アメリカ、ヨーロッパ、中国などにはコンセプトに合った店舗や通販サイトなど、販路拡大を図っています。「私にとっても、あなたにとつ

ても、環境にとつても、社会にとつても、ライクイット(これが好き)。SDGs※も踏まえた製品づくりをしていきたいと考え、ロゴマークとブランドアイデンティティを新しくしたんですよ。新ロゴマークには「ライクイット」の前に様々な主語が入るためのスペースが空いています。創業100年に向けて、もっともつと変化しながら発展していきたいですね。」と話す吉川社長。

ライクイットのチャネル拡大の一方で、同社では新素材の開発にも取り組んでいます。「初代は当時主流のセロイドから、新しいプラスチックという素材へと移行しました。それは、100年後を見据えたからだと思います。その志を受け、私たちは使い捨てではなく、永く使ってもらえる商品デザインをして、環境への負荷を減らす製品づくりをしています。」と吉川社長。

また、独自技術でCNF(セルロースナノファイバー)とポリプロピレンを複合化することに成功。吉川社長はこれ



株式会社吉川国工業所



商品を通じて美しい収納、ぬくもりのある快適な暮らしを提供する老舗プラスチック製造メーカー。創業100周年に向けてさらなる発展が期待される。

代表取締役社長/吉川 利幸
本社/葛城市加守646-2
TEL/0745-77-3223
設立/1932年
資本金/2,000万円
従業員数/95名
URL/http://www.yoshikawakuni.co.jp

を「夢の素材」と呼びます。CNFとは、植物由来の結晶繊維を超微細化したもので、鋼鉄の1/5の軽さながら5~8倍の強度がある素材です。技術開発が進む分野ですが、プラスチックに入れる技術は国内外で同社が初。本格的な製品化は来年度以降ということですが、今後ますます世界での活躍が期待される同社に注目です。



メッシュラウンドバスケットと
モジュール化されたクローゼットシステム

※SDGsとは「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称で、2030年までに政府や企業を含めたあらゆる立場の人々が解決すべき17のグローバル目標と169のターゲット(達成基準)からなる国連の開発目標。人類社会が抱える貧困、人権、環境、平和などの共通の諸課題の解決に向けた目標として定められている。

合同会社ほうせき箱 代表 ヒライ ソウスケ 氏



奈良のかき氷ブームの火付け役となったかき氷専門店「ほうせき箱」。季節を問わず県内外からたくさんの方が訪れます。代表のヒライさんに、「かき氷を一過性のブームで終わらせないためにも、奈良県中の店と連携して“かき氷のまち・奈良”を発信し続けたい」という熱い想いを伺いました。

奈良をもっと盛り上げようと様々なアイデアを練っているヒライ代表



当財団のなら農商工連携ファンドを活用して開発した、柿の葉を使ったオリジナル商品「Sousuke (ソウスケ)ブランド」

大きなカウンターがあり、来店した人は、目の前でかき氷をつくる様子を見ることが出来ます。そこには、「目の前でつくるからこそ感じるシズル感、ライプ感を大切にしたい」というヒライ代表のこだわりが表れています。

店内でもう一つ目を引くのは、壁一面に並ぶ、柿の葉を使ったオリジナル商品「Sousukeブランド」です。柿の葉茶や柿葉塩、柿葉入浴剤など多彩な品揃えで、新しい奈良みやげとして注目を集めています。

柿の葉はビタミンCやポリフェノールが豊富で健康機能性が高く、ヒライ代表は柿の葉寿司メーカーの社長を務めていたことから、

その可能性に注目してきました。奈良は全国有数の柿の産地ですが、天理地域では、後継者も不足、耕作放棄地が増え、せっかくなれた柿の木を切らなければならぬのが現状です。実の生産に比べると、作業コストの低い柿葉の生産は、既存の柿園を使ってできるということで、少しずつ耕作面積も増えています。

移転後は販売スペースも拡張し、今では「Sousukeブランド」は、生産が間に合わないほどの人気です。それでもヒライ代表は「今は目先の利益を考えた安易な増産より、人材育成や、一緒に協力してくれる仲間を増やすことに注力する時期。丁寧に事業を展開していきたい」と話します。

挑戦し続ける人気店

「ひむろしらゆき祭」の成功もあり、徐々に定着しつつある。奈良「かき氷のまち」というイメージ。それをさらに広げるため、毎年『奈良かき氷ガイド』を制作しています。奈良のかき氷の名店を紹介する小冊子で、奈良市内だけでなく、大和郡山市や天理市、明日香村な

かき氷店のはしごによる周遊型観光 氷の神さまを中心にした「かき氷のまち」を提案



奈良かき氷ガイド 2018

かき氷が 奈良の新しい名物

極薄に削ったフワフワの水の上に、果物やヨーグルトなどをムース状にした「エスプーマ」がふわり。一口含むと瞬く間に溶けて、冷たさよりも、果物の風味や甘みが口いっぱい広がります。

このエスプーマかき氷は、県内はもちろん、全国からのかき氷ファンを唸らせる、ほうせき箱の代表的なメニューのひとつ。使用する果物などは奈良県産を中心に、季節ごとの旬の味覚も取り入れています。ヒライ代表は「かき氷は夏の食べ物というイメージが強いですが、果物の収穫が増えることから、時期こそ、おいしいかき氷が提供できるんです」と話します。

ほうせき箱のオープンは2015年。きっかけは、2014年8月に開催した「ひむろしらゆき祭」でした。

氷室の守神を祭る氷室神社にかき氷を奉納するこの祭りは、氷室神社宮司の大宮守人さんと話し合っただけのもの。その後も全国の有名店を招いて毎年開催しており、各店の趣向を凝らしたかき氷目当てに、例年1万人以上の

どの店舗も紹介しています。

「かき氷ファンには、一日に2店舗、3店舗とはしごをして、各店の味の違いを楽しむ人も多いです。この冊子が、かき氷のまち・奈良のイメージ定着と同時に、奈良観光の課題である奈良公園周辺から中南和への人の流れをつくる一助になればと思っています。

ほうせき箱も、たくさんのお店の中から選んでもらえるように、チャレンジし続ける店である必要があります。最近、人気のメニューが「リトマス試験紙水」。シロップに特別なハーブティーを使うことで、上から酸性のレモン汁を加えると色が変わります。味はもちろん、見た目にも変化が楽しめるかき氷です。これからクリスマスやお正月な



コの字型のカウンターには冬でもお客様の足元が冷えないようにパネルヒーターが設置されている

来場者が訪れます。

数年前、奈良市小西通りにある「おちゃのこのかき氷」を味わって以来、かき氷に大きな可能性を感じたようになったというヒライ代表。第1回のイベントの成功後、おちゃのこのを退職した岡田桂子さんと一緒に合同会社ほうせき箱を設立し、もちいどのセンター街にあるチャレンジショップ「もちいどの夢CUBE」に、念願の実店舗をオープンさせました。今年3月からは夢CUBEを卒業して、もちいどのセンター街沿いに店を構えています。

目の前で作ってこそ感動 柿の葉製品にも注目

一面ガラス張りの開放的なエントランス。一步店内に入ると、内装は木と白壁を基調にしたやさしい色合い。中ほどにはコの字型の



色鮮やかなリトマス試験紙水

ど、一年の中でも特にイベントが多い時期を迎えます。ほうせき箱ではその都度、楽しいイベント限定メニューが登場する予定です。「かき氷は、枕草子にも登場する古い食文化。どんな味にも染まり、そこには無限の可能性がありま。そして何よりも奈良には、氷室神社という、私たちがかき氷店の中心となる場所もある。県の全域でかき氷店を増やし、かき氷のまち・奈良を発信していきたい。」

ほうせき箱の新たな挑戦は、まだまだ続きます。

合同会社ほうせき箱



大和では昔から「おやつ」のことを「ほうせき」と呼んでいました。そこからお店の名前は「ほうせき箱」。そこに全国からかき氷ファンが集まります。柿の葉茶などの「Sousukeブランド」の購入はHPからも。

代表/ヒライ ソウスケ
本社/天理市乙木町507-1
本店/奈良市餅飯殿町47
TEL/0743-86-4262
設立/2015年
資本金/300万円
従業員数/10名
URL/http://kakiha.net

なら農商工連携ファンド事業を活用して 新商品の開発をしませんか？

なら農商工連携 ファンド事業に ついて

この事業は、中小企業者と農林漁業者が連携して、お互いの経営資源を活用し、創意工夫を凝らした新商品・新サービスの開発や販路開拓等を行う取り組みに対し、事業にかかる経費の一部を助成することによって、地域の活性化を図ることを目的としています。

この「なら農商工連携ファンド事業助成金」を活用し、商品化された事例を紹介します。

平成26、27、28年度 なら農商工連携ファンド事業を活用して開発されました

大和当帰葉入りドレッシング

- 奈良県産にこだわった『玉ねぎドレッシング』と『トマトドレッシング』。
- 素材それぞれの個性を活かした、旨味の効いたドレッシングに仕上がりました。
- 有限会社桂花、益田農園、小西農園が連携して開発しました。

おすすめポイント

『玉ねぎドレッシング』

- ① 玉ねぎのkokを当帰葉の風味が引き立てた旨みの強さ
- ② 冷製サラダはもちろん温野菜にもおすすめ
- ③ お肉との相性も抜群

『トマトドレッシング』

- ① 濃厚な奈良県産トマトに当帰葉の風味がアクセント
- ② シンプルなサラダが深みのあるイタリアンサラダに
- ③ 魚介を加えたサラダにもおすすめ



この商品に関するお問い合わせは有限会社桂花 TEL: 0743-79-0013

平成28年度 なら農商工連携ファンド事業を活用して開発されました

ブランド蜂みつ 大和の雫

- 養蜂が発祥した地とされる奈良県から「高級蜂蜜 大和の雫 (やまとのしづく)」が誕生。
- 花、採蜜時期、品質維持にこだわり、品質の高さと安全性を科学的に証明しました。
- 奈良県養蜂農業協同組合、株式会社やまと蜂蜜が連携して開発しました。

おすすめポイント

- ① 花の香りとさっぱりとした甘さが味わえる
- ② 基本調味料の一つとして利用。紅茶やヨーグルト、ホットケーキ、味のしっかりしたパンやチーズにそのままかけて



この商品に関するお問い合わせは奈良県養蜂農業協同組合 TEL: 0743-59-0234

※この事業は、平成31年度で終了予定です。

お問い合わせ

事業化推進課 (公財)奈良県地域産業振興センター TEL: 0742-36-8312

奈良県産品の輸出をサポート ジェトロ奈良がオープン

国内企業の海外展開を支援する、日本貿易振興機構(ジェトロ)奈良貿易情報センターが11月12日に奈良県の中小企業会館にオープンします。

奈良県経済の活性化のためには、国内外において外から稼ぐ力(域外交易力)の強化は大きな柱のひとつであり、県外への販路拡大のみならず、海外への輸出拡大も重要な課題となっております。

これまでも奈良県では、輸出で成果を上げ、手本となる事業者を海外展開リーディングカンパニー(輸出)として表彰し、県内中小事業者の皆さまに海外に目を向けるきっかけづくりを行ってきました。他にも、海外見本市出展支援、海外バイヤーとの商談機会の提供など、海外への県産品の販路拡大支援、販売促進支援に取り組んできました。

更に、海外展開に熱心な県内事業者の皆さまへのサポート、バックアップを積極的に推進するため、海外展開について豊富なノウハウや海外

ネットワークを有するジェトロの誘致を進めてきました。

ジェトロは、諸外国との貿易拡大および経済協力を促進し、日本の経済・社会のさらなる発展を目指すため、①対日直接投資の促進、②農林水産物・食品の輸出支援、③中小・中堅企業の海外展開支援、④情報提供・調査研究を通じた、企業活動や通商政策への貢献の4点に力を注ぎ取り組んでいます。

具体的には、海外展開に取り組み事業者の幅広いニーズに対応した、各種セミナーや講演会、国内外のネットワークを活かしたマーケット情報提供、販路開拓のための海外見本市や展示会、知的財産の保護や活用支援など、輸出の取組段階に応じた支援メニューを揃えています。

他にも、日本食品海外プロモーションセンター「JFOODO」によるオールジャパンでの農林水産物・食品の海外におけるブランディング推進や、高度外国人材に関するジョブ

フェアといった、海外の優秀な人材と国内企業とのマッチングにも取り組んでいます。

今回オープンするジェトロ奈良においても、海外経験豊富なアドバイザーが常駐し、県内事業者の皆さまからの海外展開に関する相談に対応します。また、ジェトロの国内外のネットワークを最大限に活用して、奈良県の産業の実情に合った各種貿易セミナーや、展示会、商談会を通じた海外のバイヤーと県内事業者の皆さまとのマッチングを行う予定です。ジェトロ奈良を、海外への販路拡大や海外進出に取り組み県内事業者の皆さまにとつての海外展開支援窓口として、ぜひ積極的にご活用ください。

奈良と世界を結びつけ、 地域の魅力を発信

ジェトロ奈良では、ジェトロの海外54カ国(74事務所)と国内48拠点の国内外ネットワークをフル活用し、奈良の事業者様の輸出・海外進出などの海外ビジネスを全力でサポートします。

この機会に、新たなビジネスを検討してみませんか? 近鉄奈良駅1番出口すぐとロケーションも絶好です。お気軽にご相談ください!



所長: 山本諭



11/12 OPEN

JETRO
日本貿易振興機構(ジェトロ)

海外ビジネスのことなら、ジェトロにご相談ください。

海外の経済・貿易情報を入手したい 海外取引先を開拓したい
 貿易・投資について相談したい 海外進出を実現したい

といった、各種のご要望に合わせた支援メニューを取り揃えてお待ちしております。

〒630-8213 奈良県奈良市登大路町38-1 奈良県中小企業会館2階(近鉄奈良駅1番出口すぐ!)

TEL:0742-23-7550 FAX:0742-23-7565

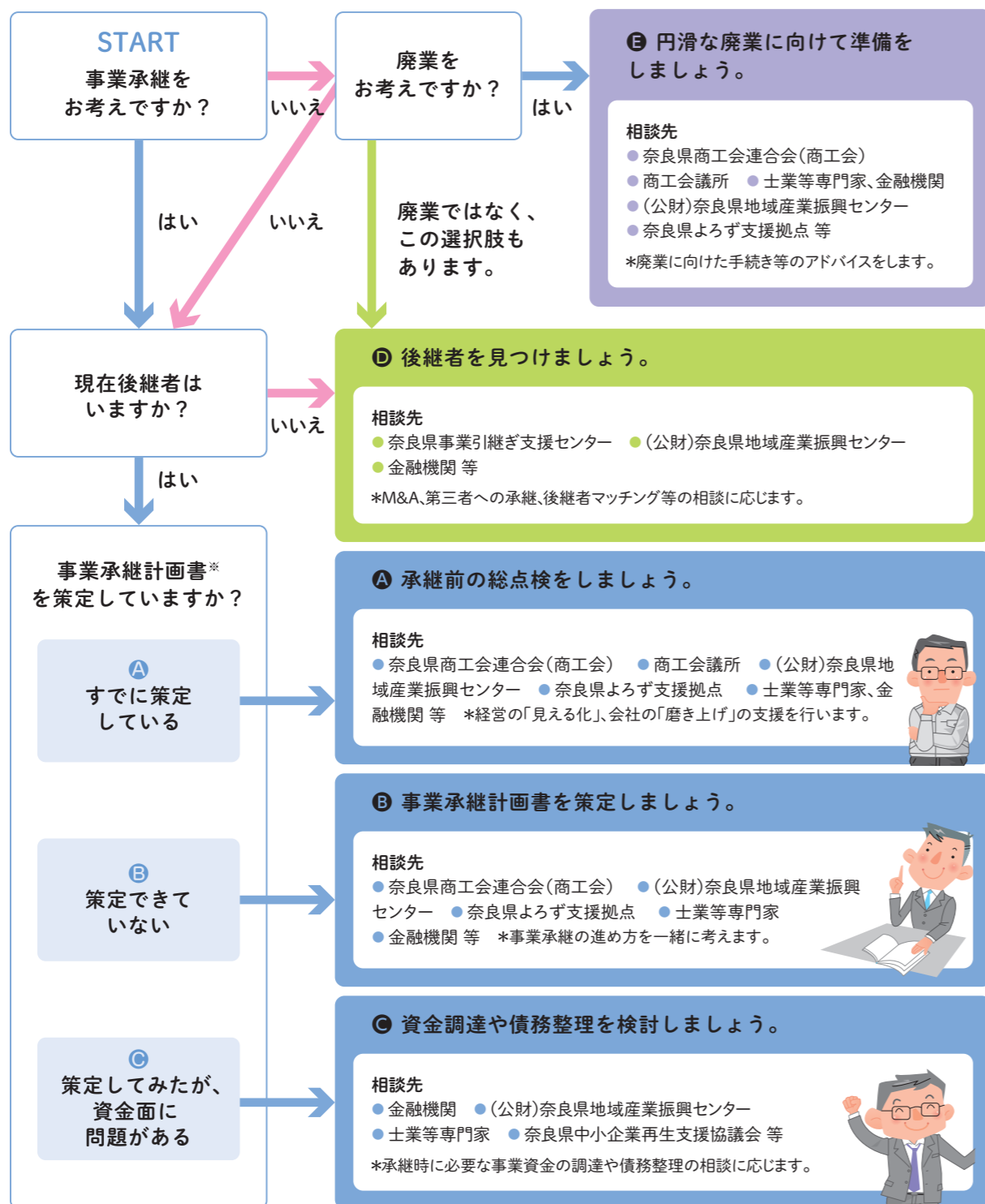
E-mail:NAR@jetro.go.jp 営業時間:平日9~12時、13~17時

お問い合わせ

後継者へスムーズなバトンタッチをするために
あなたの事業承継を応援します!!

事業承継診断フローチャート

初期相談は、お近くの市町村、商工会あるいは奈良県事業承継ネットワーク事務局（(公財)奈良県地域産業振興センター）までご相談ください。



※事業承継計画書とは、中長期の経営計画に、事業承継の時期、具体的な対策を盛り込んだものです。事業承継計画を立案するにあたっては、まず最初に会社をとりまく各状況を正確に把握することが必要です。

今後10年の間に、70歳(平均引退年齢)を超える中小企業・小規模事業者は、約245万人となり、うち約半数の127万人(日本企業全体の1/3)が後継者未定という状況です。

現状を放置すると、廃業の急増により、2025年頃までの10年間、累計で650万人の雇用と約22兆円のGDPが失われる可能性があり、特に奈良県など地方において、事業承継は深刻な問題となっています。

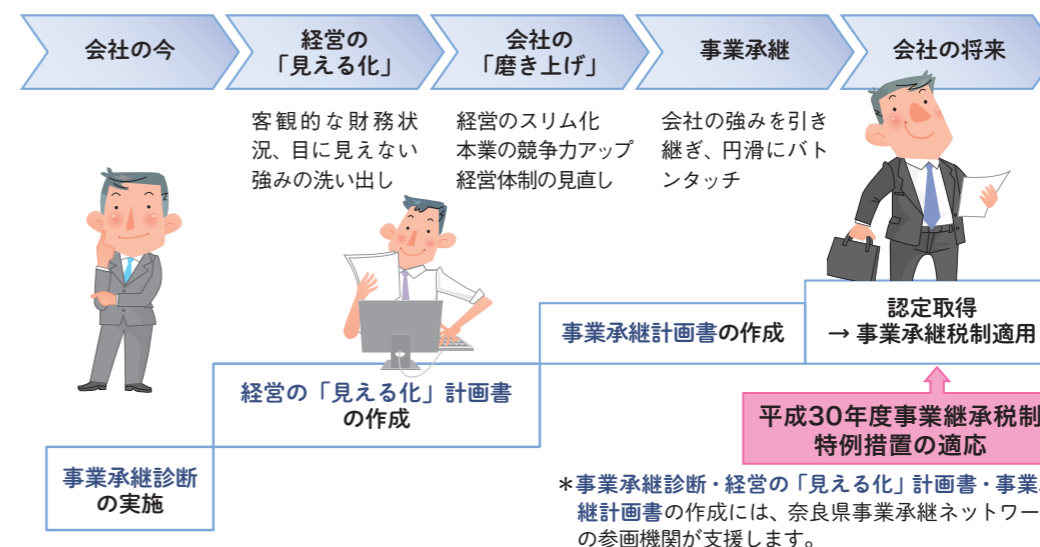
奈良県では、中小企業・小規模事業者の事業承継を進めるため、(公財)奈良県地域産業振興センターが核となり、商工会・商工会議所、金融機関、各種専門家団体等の機関と連携して支援活動を実施しています。

※国(中小企業庁)の委託を受けた「プッシュ型事業承継支援高度化事業」の取り組みを行うものです。

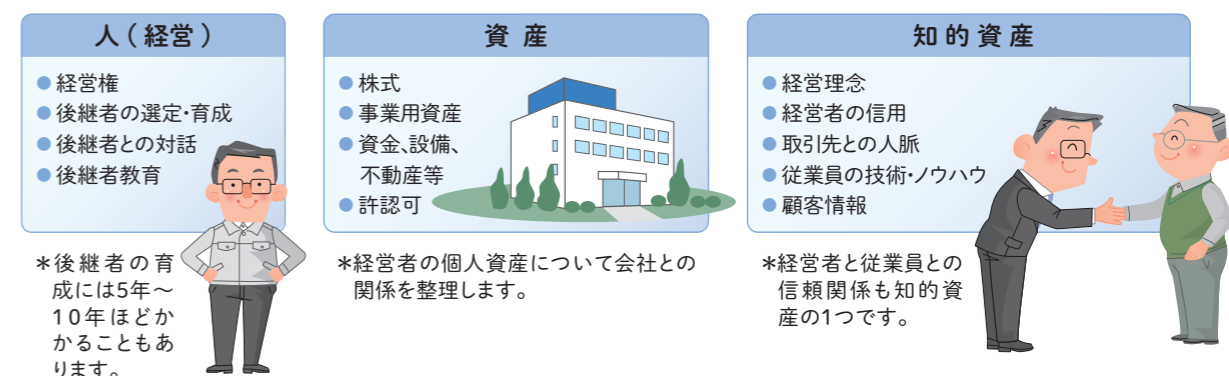
事業承継のためのステップ (会社・事業の将来を考える)



「会社の今」を見つめ直し、経営の「見える化」、会社の「磨き上げ」、そして「事業承継」により、魅力あふれ、長く継続する会社や事業を組み立てましょう。そのためには、**まず、事業承継診断を受けましょう。**



事業承継の構成要素



設備貸与制度は、奈良県内で創業や経営の革新に取り組む小規模企業者等の設備投資を資金面で支援する制度で、必要な設備を当財団が購入し、長期かつ低利で貸与（割賦販売またはリース）するものです。設備導入・更新の際は、当制度をぜひご利用ください。

制度の概要

	割賦販売	リース
利用限度額	100万円以上 1億円以下(消費税込)	
償還期間	最長10年以内	3~10年
割賦損料率・リース料率	年利率 1.3% (固定)	3年 2.926% 7年 1.333% 4年 2.231% 8年 1.181% 5年 1.808% 9年 1.065% 6年 1.533% 10年 0.972%
返済方法	半年払	毎月均等払
保証金	契約時、設備価格の10%	不要
連帯保証人・不動産担保	原則として不要ですが、法人の場合は代表者を連帯保証人とします。また審査等により追加の連帯保証人もしくは担保が必要となる場合があります。	

活用事例

【割賦販売】

貸与年度 平成29年度
 事業者名 西田自動車鉄工株式会社
 (店舗名 珈琲や かじせん)
 主な事業 自動車整備業、コーヒー豆小売
 貸与設備 コーヒー焙煎機ほか
 貸与規模 1,000万円未満



【リース】

貸与年度 平成28年度
 事業者名 株式会社希翔
 主な事業 寝具製造業
 貸与設備 枕製造設備
 貸与規模 1,000万円未満



設備投資の公的サポート
 設備貸与制度

お気軽にご相談ください。

事業承継自己診断チェックシート

Q1～Q9の設問について、1つでも「いいえ」という回答があった方は、「事業承継診断」を奈良県事業承継ネットワーク各機関で受けましょう。

Q1 事業承継計画を策定し、中長期的な目標やビジョンを設定して経営を行っていますか。	はい	いいえ
Q2 経営上の悩みや課題について、身近に相談できる専門家はいますか。	はい	いいえ
【以下の中から、当てはまる設問へお進み下さい。】		
・私には後継者がいる【子ども、親族、従業員】……………☆へ		
・私には後継者にしたい人材がいる【子ども、親族、従業員】……………Q6～Q7へ		
・私には後継者がいない……………Q8～Q9へ		
☆後継者に対し将来会社を託すことを明確に伝え、後継者として事業を引継ぐ意思を確認しましたか？		
「はい」……………Q3～Q5へ 「いいえ」……………Q6～Q7へ		
Q3 後継者に対する教育・育成、人脈や技術などの引継ぎ等の具体的な準備を進めていますか。	はい	いいえ
Q4 役員や従業員、取引先など社内外の関係者の理解や協力が得られるよう取組んでいますか。	はい	いいえ
Q5 法務面や税務面、資金面などについて将来の承継を見据えた対策を進めていますか。	はい	いいえ
Q6 後継者の正式決定や育成、ご自身の退任時期の決定など、計画的な事業承継を進めるために必要な準備期間は十分にありますか。	はい	いいえ
Q7 後継者候補に承継の意向について打診する時期や、ご自身がまだ打診をしていない理由は明確ですか。(後継者が若く、打診するには早すぎる等)	はい	いいえ
Q8 第三者に事業を引継ぐ(企業売却・事業譲渡等)場合の相手先の候補はありますか。	はい	いいえ
Q9 企業売却・事業譲渡等の進め方についてご存知ですか。	はい	いいえ

診断結果

Q1・Q2で、1つ以上「いいえ」と回答した方

事業承継を円滑に進めるためには長い時間を要します。早期着手の重要性を理解し、事業承継に向けて現状の把握を進めましょう。

Q3・Q4・Q5で、1つ以上「いいえ」と回答した方

円滑に事業承継を進めていくために、事業承継計画の策定による計画的な取組が求められます。

Q6・Q7で、1つ以上「いいえ」と回答した方

企業の存続に向けて、具体的に事業承継についての課題の整理や方向性の検討を行う必要があります。

Q8・Q9で、1つ以上「いいえ」と回答した方

「奈良県事業引継ぎ支援センター」へおつながりますので、当事務局へご連絡ください。

「事業承継計画書」を県知事に提出することによって贈与税、相続税の納税猶予が受けられます。「事業承継診断」を受けましょう。

設備貸与制度の「ここがポイント！」

- 融資ではないので、金融機関の借入枠や信用保証機関の保証枠とは別枠です。
- 割賦販売で設備を導入すれば、当財団に所有権を留保したまま減価償却を行うことが可能です。
- 商工会、商工会議所を経由してお申し込みになれば、償還期間を延ばすことも可能です。詳しくはお問い合わせください。

お問い合わせ

金融課 〈(公財)奈良県地域産業振興センター〉 TEL: 0742-36-8311

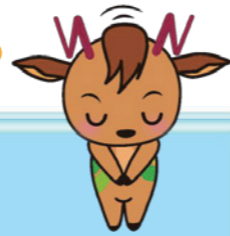
お問い合わせ

奈良県事業承継ネットワーク事務局 〈(公財)奈良県地域産業振興センター〉
 TEL:0742-93-8815 E-mail:n-jigyousyoukei@nara-sangyoshinko.or.jp

平成30年度下期

中小企業・小規模事業者の皆さまへ

総合相談窓口のご案内



- ✓ 平日昼間の相談は、事前申込なしで随時開催しています！
- ✓ 便利な**休日・夜間**の開催もございます！
※休日・夜間の相談会は、**事前申込制**とさせていただきます。
「休日・夜間相談申込書」をご提出ください。
- ✓ ご相談は、**無料**です！

奈良県内で、
 ✓ 創業をお考え中
 ✓ 新事業展開を相談したい
 ✓ 経営改善に取り組んでいる
 など、経営に関する事なら
 何でも相談に乗ります。

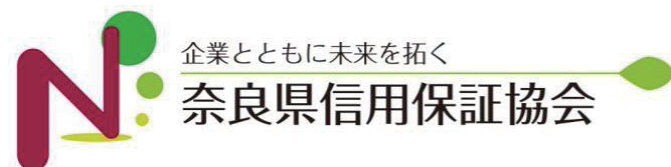
詳細▼

	開催日			開催場所	相談内容
	休日	夜間			
開催時間	9:00～17:00 <small>※休日相談窓口は、原則第3日曜日</small>	17:00～19:00 <small>※夜間相談窓口は、原則第2、第4木曜日</small>		本店 奈良市法蓮町163-2	<ul style="list-style-type: none"> ・創業に関する相談 (創業計画の作成方法) ・経営課題に関する相談 ・金融相談 ・金融機関紹介 など
30年 10月	21日(日)	11日(木)	25日(木)	高田支店 大和高田市幸町2-33 (奈良県産業会館内)	
30年 11月	18日(日)	8日(木)	22日(木)		
30年 12月	16日(日)	13日(木)	20日(木)		
31年 1月	20日(日)	10日(木)	24日(木)		
31年 2月	17日(日)	14日(木)	28日(木)		
31年 3月	17日(日)	14日(木)	28日(木)		

◎ 平日昼間の相談窓口は、**8:30～16:30**となります。

※休日・夜間の相談に限り事前申込のない方につきましては、当日お越しになられても対応できませんので、予めご了承ください。

【お問合せ先】



企画部 企画情報課

☎0742-33-0548



奈良県信用保証協会
 マスコットキャラクター
 「ほしよまる」



私たちは、地元中小企業のみなさまと一緒に成長したい。

事業資金等のご相談は

ならしんへ

奈良信用金庫

本店：大和郡山市南郡山町529番地の6
 TEL：0743-54-3111
 URL：https://www.narashin.co.jp

地域のお客様を最優先とし、地元から愛される
 地元密着型のスタイルを押し進めてまいります！

事業資金等のご相談は「やましん」へ
大和信用金庫

本店 奈良県桜井市桜井 281-11
 TEL 0744-42-9001 (代表)
<http://www.yamato-shinkin.co.jp/>



地元中小企業のみなさまの
 いちばんのサポーターでありたい

事業資金、各種助成金制度等のご相談は、ぜひ「ちゅうしん」へ

奈良中央信用金庫

〒636-0398 磯城郡田原本町132-10
 TEL：0744-33-3311(代) FAX：0744-33-3801
 URL：http://www.narachuo-shinkinbank.co.jp



<ナント>DC企業型プランのご案内

～退職金制度を見直してみませんか?～

- 雇用の多様化、少子高齢化社会の到来、運用環境の変化と退職給付会計基準の変更など、退職金・企業年金を取り巻く環境の変化により、企業型確定拠出年金制度(企業型DC)を導入する企業が増加しています。
- 企業型DCを導入することで、各企業が抱えておられる問題解決に繋がり、また従業員の方々には、計画的な老後資金の準備を行っていただくことが可能となります。
- 南都銀行では、各企業のニーズに応じて、最適なプランの提案等を行い、退職金制度の改定に向けたお手伝いをさせていただきます。

南都銀行では無料の退職金・年金コンサルティングサービスを実施しております。貴社ならびに従業員の皆様にとってより良い制度構築に向けて、是非、南都銀行の退職金コンサルティングサービスをご利用ください。

コンサルティング

内 容 の 一 例

- 退職金制度の現状分析
- 企業型DC導入後の新退職金制度シミュレーション
- 企業型DC導入後の財務効果検証 等

※お預かりする資料やデータの内容、貴社でご採用の会計制度等により、ご提示できない内容もございます。

<お問い合わせ先>

株式会社南都銀行 法人営業部

〒630-8677 奈良市橋本町16 TEL0742-27-1670 FAX0742-81-4121

ご相談は地域産業振興センターへ

公益財団法人 奈良県地域産業振興センター

〒630-8031 奈良県奈良市柏木町129-1
 TEL 0742-36-8312 FAX 0742-36-4010
<http://www.nara-sangyoshinko.or.jp/>

交通・アクセスご案内

- 電車 近鉄橿原線「西ノ京駅」下車、東へ徒歩20分。
- バス 「近鉄奈良駅」より「恋の窪町行」乗車20分、「柏木町南」バス停下車、西へ徒歩5分。
- 自動車 国道24号柏木町交差点を西折、1つ目の信号を右折。

